

秘

第二種第一〇號

兵站勤務令改正章按

明治三十一年一月起按

參謀本部第二部

0293



兵站勤務令目次

第一篇	兵站統轄官	一	丁
第一章	兵站總監	同	丁
第二章	兵站總監ニ隸屬スル諸官	二	丁
第三章	兵站部ノ任務及其職域	三	丁
第四章	運輸通信長官	六	丁
第五章	野戰監督長官	九	丁
第六章	野戰衛生長官	十	丁
第二篇	兵站事務	同	丁
第一部	綱領	同	丁
第七章	兵站線路及兵站管區	同	丁

0294

第八章	兵站線路ノ構造及集積場	十一丁
第二部	兵站監部及其屬部ノ業務	十六丁
第九章	兵站部ノ成立及業務ノ開始	同 丁
第十章	兵站部ト他官衙トノ關係	十七丁
第十一章	兵站監	十九丁
第十二章	兵站管區ノ警備	二十二丁
第十三章	水陸交通路ノ維持	二十六丁
第十四章	兵站馬廠	二十九丁
第十五章	兵站監本部ノ事務細則	三十丁
第十六章	兵站參謀官及同副官	三十一丁
第十七章	兵站監本部附軍吏	三十三丁

0295

第十八章	兵站憲兵部長	三十四丁
第十九章	兵站法官部長	三十五丁
第二十章	兵站監督部長	三十六丁
第二十一章	兵站軍醫部長	三十九丁
第二十二章	兵站獸醫部長	四十二丁
第二十三章	兵站電信部長	四十三丁
第三部	兵站地及兵站司令部	四十五丁
第二十四章	兵站司令部ノ職員	同 丁
第二十五章	兵站司令部隸屬ノ關係	四十七丁
第二十六章	兵站基地	四十八丁
第二十七章	兵站主地	五十一丁

0296

第二十八	陸地兵站路及兵站地	五十五丁
第二十九	兵站司令部ノ業務	五十八丁
第三十	兵站司令部事務細則	六十八丁
第三十一	兵站地内部ノ設備	八十三丁
第三篇	鐵道及海上輸送業務	八十六丁

0297

兵站勤務令

第一篇 兵站統轄官

第一章 兵站總監

第一 兵站總監ハ參謀總長ノ指揮ニ從ヒ通常大本營ニ在テ  
左ノ事務ヲ統理ス

一 兵站事務

二 運輸通信事務

三 野戰監督事務

四 野戰衛生事務

第二 兵站總監ハ右各事務ノ擔任部ヲシテ各自ニ職務ヲ整  
理シ且協力一致セシメ以テ全般ノ業務ヲ完全ニ舉行スルノ

0298

責任ヲ有ス

第三 兵站及運輸通信事務ニ従事スル諸官衙及軍隊ハ勿論  
其他凡テ作戰軍及占領地總督部ニ屬スル監督部衛生部モ當  
該司令部等ノ指示命令ニ矛盾セサル限リハ亦兵站總監ノ指  
示ヲ遵奉スヘキモノトス

第四 兵站總監及其部下各部長官(第二章)ハ各其主任ノ事項  
ニ關シ戰地外ニ在ル諸團隊諸軍衙及其他諸官衙ト常ニ連絡  
ヲ維持スルモノトス

## 第二章 兵站總監ニ隸屬スル諸官

第一章ニ掲ケタル各事務ヲ統理スル爲メ兵站總監ニ隸屬ス  
ル諸官左ノ如シ

0299

甲 兵站業務ノ諸官

(一) 兵站總監本部參謀長 全軍ニ關スル兵站事務ヲ

管掌ス

(二) 兵站監 軍或ハ獨立師團又ハ混成旅團若クハ一

地方ノ兵站事務ヲ統理ス

乙 運輸通信長官 鐵道船舶及陸路ニ於ル運輸業務并

ニ電信郵便ノ事務ヲ統理ス

丙 野戰監督長官 戰地ニ於ル會計、經理事務ヲ統理ス

丁 野戰衛生長官 戰地ニ於ル衛生事務ヲ統理ス

第三章 兵站部ノ任務及其職域

第一 兵站ハ作戰軍ヨリ當該師管ニ至ル後方連絡ヲ保持ス

0300



ルモノトス

兵站部ノ直接管區ハ通常左ノ如シ

外征ニ在テハ作戰軍ノ占領地ヨリ其背後我軍ノ上陸地若クハ首要ノ港灣又ハ占領地總督ノ管轄地境界ニ至ル迄トス  
内國戰ニ在テハ方サニ戰地タル師管ノ後方ニシテ之ニ隣接スル師管ノ境界ニ至ル迄トス

以上ノ管區ヲ變更スヘキトキハ大本營ヨリ特ニ之ヲ示定スルモノトス

兵站部ニ屬スル事項ニシテ右ノ直接管區外ニ涉ル者ハ其狀況ニ依リ陸海軍諸官衙及地方吏員其他占領地總督部等ノ補助ヲ要スルモノトス

四

0301

第二 兵站部ノ任務ハ左ノ如シ

- 一 作戰軍ノ需用品ヲ充足シ且之ヲ背後ヨリ追送スル  
ト
- 二 作戰軍ヨリ後方ニ還送スヘキ凡ヲノ人馬物件ヲ収容シ且之ヲ輸送スルト
- 三 作戰軍ヘ追行シ或ハ之ヨリ還歸スル人馬及物件ノ兵站部管区内ニ在ル間ハ之ヲ宿泊セシメ之ヲ給養シ之ヲ療養シ及之ニ保護ヲ與フルト
- 四 兵站部ノ管区内ニ於テ連絡線ヲ保持スルト  
之カ爲メ陸路、水路、橋梁、鐵道、電信線及郵便線路ヲ保護シ或ハ之ヲ築設シ(鐵道ヲ除ク)又警察事務ヲ掌ル

五

0302

此任務ノ爲メ兵站守備隊ヲ附屬ス

五 占領シタル敵地ニ行政官廳ヲ設置セラレザル間其  
地方ノ行政ヲ爲ス

第四章 運輸通信長官

第一 運輸通信長官ハ兵站總監ニ隸屬シ其任務ハ軍ノ作戰  
ニ關シ直接ノ協同動作ニ參與シ水陸ノ輸送及通信ノ事務ヲ  
統理シ且兵站業務ノ實行ヲ補助スルニ在リ

第二 運輸通信長官任務ノ種別及之ニ隸屬スル諸部左ノ如  
シ

甲 輸送業務

(一) 鐵道船舶運輸委員 全軍ニ關スル鐵道及船舶ノ

六

0303

輸送事務ヲ管掌ス

(二)

鐵道輸送業務ヲ管掌スル官衙左ノ如シ

其一 野戰鐵道提理部 戰地ニ於ケル鐵道ノ輸送

及築設業務ヲ直接ニ管理ス

其二 線區司令部 内地ニ於ル一定ノ鐵道區域若

クハ線路毎ニ之ヲ置キ各區域或ハ各線路内  
ノ軍事輸送ヲ掌ル

其三 停車場司令部 主要ナル停車場ニ置キ野戰

鐵道提理部若クハ線區司令部ニ屬ス

總テ軍事輸送ニ從事スル鐵道ハ悉ク運輸通信長官ノ  
令下ニ屬ス

0304

(三)

船舶輸送業務ヲ管掌スル官衙左ノ如シ

其一 船舶輸送司令部 一定ノ航路或ハ一海上區

域毎ニ之ヲ置キ其航路若クハ區域内ニ於ル

軍事輸送ヲ掌ル

其二 碇泊所司令部 主要ナル港灣ニ置キ船舶輸

送司令部ニ屬ス

總テ軍事輸送ニ從事スル船舶ハ悉ク運輸通信長官ノ

令下ニ屬ス

總テ輸送業務ニ關スル詳細ナル規定ハ輸送令ノ定ム

ル所ニ依ル

乙 通信業務

0305

(一)

野戦高等電信部 戦地ニ於ル電信事務ヲ統理ス  
其職務ノ詳細ナル規定ハ戦時電信部勤務令ニ依  
ル

(二)

野戦高等郵便部 戦地ニ於ケル郵便事務ヲ統理  
ス其職務ノ詳細ナル規定ハ戦時郵便部勤務令ニ  
依ル

第三 戦時未タ運輸通信長官ヲ任命セサル間及平時其業務  
ノ準備計畫ハ參謀本部第四部之ヲ擔任ス

第五章 野戦監督長官

野戦監督長官ハ兵站總監ニ隸屬シ凡テ戦地ニ於ル會計經理  
事務ヲ統理ス其職務ノ詳細ナル規定ハ野戦監督部勤務令ニ

0306

依ル

第六章 野戰衛生長官

野戰衛生長官ハ兵站總監ニ隸屬シ凡テ戰地ニ於ル衛生事務ヲ統理ス其職務ノ詳細ナル規定ハ戰時衛生勤務令ニ依ル

第二篇 兵站事務

第一部 綱領

第七章 兵站線路及兵站管區

第一 兵站線路ハ軍或ハ獨立師團若クハ混成旅團ノ所在地ヨリ當該師管ニ至ル迄延長シ而シテ成ルヘク鐵道船舶ニ賴ルモノトス

兵站管區内ニアル兵站線路及兵站事務ハ凡テ各兵站監ノ直

0307

轄ニ屬シ而シテ兵站總監之ヲ統轄ス

第二 軍或ハ獨立師團等ノ爲メニ用ユヘキ兵站線路及其側方ノ管區ハ通常大本營之ヲ規定ス然ラサルトキハ軍或ハ獨立師團等各自ニ之ヲ撰定ス又軍司令部ハ之ヲ要スレハ其所屬各師團ノ爲メ亦此規定ヲ爲スモノトス  
軍或ハ獨立師團等ノ司令部ハ作戰軍ノ占領地帯ト兵站部ノ管轄ニ屬スル地區トノ分界ヲ規定スルモノトス

#### 第八章 兵站線路ノ構造及集積場

第一 軍事交通ヲ簡便ナラシムル爲メ師管ト作戰軍トノ間ニ於テ兵站線路上ニ兵站基地ト兵站主地トヲ定ム  
野戰軍ニ追送スヘキ諸物件ハ先ツ其各貯藏地ノ附近ニ蒐集

0308



シ然ル後此地點ヨリ整理セル輸送法ヲ用ヒ發送ス此地點ヲ  
 兵站基地ト名ク又其目的地ノ近傍ニ於テ一ノ地點ヲ指定シ  
 總テ後方ヨリ追送シ來ル諸物件ヲ一タヒ此地ニ到達セシメ  
 此地ヨリ之ヲ各地ニ配達ス此地點ヲ兵站主地ト名ク  
 作戰軍ヨリ物件ヲ後方ニ還送スルトキハ基地主地各其動作  
 ナ倒用スルモノトス

第二 各兵站基地ヨリ發送スル野戰軍ノ諸需用物件ハ兵站  
 主地ニ到達スル前先ツ集積場ナル地點ニ蒐集ス此集積場ノ  
 用ハ諸需用物件ヲ戰地ヨリ甚タ遠カラサル地ニ準備シ置ク  
 ト諸物件ノ徒ヲニ兵站主地ニ輻湊堆積スルヲ制裁スルトニ  
 在リ

0309

集積場ヨリ物件ヲ兵站主地ニ發送スルハ野戰軍ニ於テ生スル時々ノ需用ニ應スヘキモノトス  
故ニ集積場ノ位置ハ通常兵站基地ヨリ發送スル物件ノ必ス此ヲ經由シテ兵站主地ニ至ル如ク且兵站部ノ直接管區外ニ撰定スルモノトス又其員數ハ狀況ニ依リ一作戰軍ノ爲メ一個或ハ數個ヲ設置シ又數作戰軍ノ爲メ唯一個ヲ設ケ之ヲ共用スルコトアルモノトス  
内國戰ニ在テ兵站基地ト兵站主地トノ間遠隔セサル場合ニ於テハ其中間ニ集積場ヲ設ケス直ニ兵站基地ヨリ其兵站主地ヘ物件ヲ送達ス然ルトキハ集積場ニ於テ行フヘキ事務ハ凡テ兵站基地ニ於テ行フモノトス

0310

第三 集積場ニ設置スヘキモノ通常左ノ如シ

一 集積倉庫 給養品ヲ貯蓄ス

二 貨物廠 凡軍用貨物トシテ輸送シ來ル物件及篤志者ヨリノ寄贈品其他戰地ヨリ還送シ來ル諸物品ヲ

集積ス

右一及二ハ陸軍省經理局ノ管轄ニ屬ス而テ其物件ノ出納ニ就テハ野戰監督長官ノ指揮ヲ受クルモノトス

三 衛生材料倉庫 衛生豫備材料寄贈衛生品及馬匹衛生材料其他戰地ヨリ還送シ來ル衛生材料ヲ集積ス  
此倉庫ハ陸軍省醫務局ノ管轄ニ屬シ而テ其物件ノ出納ニ就テハ野戰衛生長官ノ指揮ヲ受クヘキモノ

0311

トス

四 野戰首砲廠 要スル時之ヲ設置シ陸軍省軍務局ノ

管轄ニ屬ス

總テ後方ヨリ來ル物件ハ一タヒ集積場ニ於テ卸下スルヲ常  
則トス但軍隊及彈藥ハ此限ニ在ラス

又總テ後方ヨリ來リ集積場ニ集レル人馬及物件ハ此處ニ於  
テ更ニ之ヲ整理シ且其輸送順序ヲ規定シ而ル後發送スルモ  
ノトス

集積場ノ倉庫及諸廠ノ大小ハ物件ヲ送致スヘキ野戰軍ノ大  
小ニ應スルモノトス

集積場ハ陸軍省ノ管轄ニ屬ス然レトモ其警備ニ就テハ其所

0312

在地方ヲ管轄スル陸軍官衙ノ擔任ニ屬ス

又此地ニハ所要ニ應シ停車場司令部或ハ碇泊場司令部其他  
線區司令部若クハ船舶輸送司令部ヲモ設置スルモノトス

第二部 兵站監部及其屬部ノ業務

第九章 兵站部ノ成立及業務ノ開始

兵站部ハ成ルヘク速ニ其業務ヲ開始スルヲ要ス作戰軍ノ戰  
闘序列確定スル時ニ於テ兵站部ノ戰闘序列モ亦規定シ且直  
ニ之ヲ編成シ而シテ其獨立業務ヲ開始スルモノトス

兵站部ヲ編成スヘキ地ハ當該作戰軍司令官之ヲ規定シ其實  
施ハ兵站監之ヲ擔任ス

軍兵站部ノ豫備員ハ軍司令官兵站勤務上必要ト認ムル時之

ヲ使用スル者トス但給養等ノ爲メ之ヲ兵站監ノ配下ニ屬ス  
ルヲ通常トス

第十章 兵站部ト他官衙トノ關係

第一 兵站主地ノ位置ヲ決定シ若クハ變更シタルトキハ兵  
站監部ハ速ニ之ヲ當該作戰軍司令部及兵站總監部ニ報告ス  
ルモノトス又作戰軍中ノ各師團及各獨立團隊ニモ情況ニ因  
リ直接ニ之ヲ通報スルヲ要ス其他尙之ヲ比隣作戰軍ノ兵站  
監部陸軍省留守師團司令部及遞信省ニモ通報スルモノトス  
第二 又兵站主地ノ前方ニ數個ノ陸地兵站路(第二十八章第  
二)ヲ設置セントキハ之ヲ當該各團隊ニ通報スルヲ要ス  
作戰軍ノ各師團及各獨立團隊モ追送品ヲ迅速ニ到達セシム

ル爲メ亦其ノ各司令部ノ位置ヲ兵站監部ニ通報スヘシ  
第三 兵站管區内ニ使用スヘキ鐵道アルトキハ兵站監ハ野  
戰鐵道提理若クハ線區司令官或ハ鐵道隊長ト協議シテ兵站  
主地ノ位置ヲ決定スルモノトス又之ヲ海岸或ハ河口ニ設置  
スヘキトキハ當該船舶輸送司令官ト議定スルモノトス  
第四 當該野戰軍ニ關連セサル陸軍官衙或ハ軍隊又ハ陸軍  
外ノ官衙等ニシテ該野戰軍ノ兵站部管轄地域内ニ於テ輸送  
及通信ヲ爲サントスル者ハ兵站總監部又ハ當該兵站監部ニ  
向ヒ照會請求スヘシ但運輸通信諸官衙並當該野戰軍ニ關連  
セル留守諸官衙ハ此ノ事項ニ關シ兵站監或ハ監視地區ノ長  
〔第二十八章第四〕若クハ兵站司令官ニ直接ニ交渉請求スルヲ

0315

得ヘシ

第十一章 兵站監

第一 兵站監ハ當該作戰軍ノ兵站業務或ハ一地方ニ於ル同業務ヲ統理スルヲ以テ其任務トス故ニ兵站總監ノ訓令ヲ遵守シ當該作戰軍司令官ノ企圖ニ基キ或ハ完ク兵站總監ニ隸屬シ而シテ第三章ニ掲ケタル兵站部一般ノ任務ヲ舉行シ其他陸地兵站路ヲ畫定シ陸路(水路(河川運河等)ノ運輸方法ヲ整理シ作戰軍背後ノ靜謐ヲ維持シ且兵站管區内ニ於ル庶務ヲ處斷ス以上ノ事項ニ就テハ作戰軍司令官並兵站總監ニ對シ其整否ノ責ニ任ス

又作戰軍ノ將來ニ於ル需用ヲ豫測シ之カ準備ヲ整理スルヲ

0316



要ス

第二 兵站監ハ時宜ニ因リ兵站業務ニ使用スヘキ軍人及軍  
屬ヲ豫メ作戰軍司令官ニ申請シ以テ將來須要ナル人員ノ缺  
乏セサルコトニ注意スヘシ又諸兵站司令部中其位置及景況  
ニ因リ之ヲ必要ト爲ス者ニハ憲兵、軍醫、獸醫、軍吏、下士及蹄鐵  
工長等ヲ適宜ニ増員スルヲ得ヘシ

第三 兵站監ハ兵站業務ノ整否ヲ確知スル爲メ自ラ所轄諸  
部ヲ巡視スヘシ又之カ爲メ其參謀若クハ副官或ハ部員ヲシ  
テ屢巡視セシムヘシ

第四 兵站監ハ兵站勤務ニ使用スル爲メ兵站管區内ヲ通行  
スル軍人軍屬及軍馬並諸材料ヲ留止スルヲ得ス然レトモ一

二十

0317

般ノ作戰上大危害ヲ及ホスヘキ不測ノ事變發生シ而シテ近傍ノ兵站守備隊ヲ召致シ或ハ作戰軍司令官ノ指揮ヲ乞フノ暇ナキトキハ自己ノ責任ヲ以テ其管區内ニアル軍隊(軍隊ノ長將校ナルトキハ其ノ同意ヲ得ルヲ要ス)ヲ一時使用スルコトヲ得然ルトキハ速ニ之ヲ作戰軍司令官ニ報告スヘシ又兵站司令官ニ於テ一時已ムヲ得ス通行スル軍隊ヲ兵站線路ノ守備ニ使用シタルトキハ其近傍ノ兵站守備隊ヲ被害地方ニ送遣シ以テ速ニ該軍隊ヲシテ通過セシムルコトヲ勉ムヘシ

第五、兵站監ハ其部下將校及同相當官ノ人事ニ就テハ作戰軍司令官ニ申請シ爾餘ノ人事ハ自ラ之ヲ處理任免スルモノ

トス

兵站監ハ又其部下タル軍隊及軍人軍屬ノ風紀軍紀ヲ統臨シ  
且軍法會議ヲ管轄ス

兵站監ハ臨時必要ナル報告ノ外毎月三回(毎十日)其統理スル  
業務上ニ關シ戰時旬報ヲ當該作戰軍司令官及兵站總監ニ出  
スヘシ

戰時旬報ニ記載スヘキ事項概テ左ノ如シ

刻下ニ於ル兵站線路及該業務全般ノ概況(前十日間ニ發生  
シ或ハ變更シタル重ナル事項、給養及衛生ノ概況、作戰軍ノ  
企圖ニ基ケル將來ノ計畫等

第十二章 兵站管區ノ警備

0319

第一 兵站管區内ニアル軍用ノ諸建築物並鐵道郵便電信及水陸ノ各連絡線ヲ警備スル爲メ兵站監ハ其附屬兵站守備隊ヲ適當ニ使用配置シ且緊要ナル地點ニ防禦工事ヲ施スヲ要ス

兵站管區ヲ警備スル爲メ最緊要ナルハ敵ノ襲來等ニ就キ豫メ確實ナル報知ヲ得ルニ在リ故ニ兵站監ハ之カ爲メ支隊或ハ斥候ヲ派遣シ又ハ兵站司令官等ニ命シ一定ノ時刻ニ於テ之ニ關スル報告ヲ爲サシムルヲ要ス  
兵站監若シ敵ノ襲來或ハ土寇ノ蜂起セントスルヲ豫知シタルトキハ之ヲ其他方ノ監視地區ノ長或ハ兵站司令官若クハ守備隊長等ニ通報シ以テ之カ防禦ノ準備ヲ爲サシムヘシ又

時宜ニ依リ守備隊ヲ増遣シ及豫備彈藥ヲ送附スルコトニ注意スヘシ

第二 兵站線路俄ニ伸長シ未タ其守備兵ヲ得サルトキハ作戰軍自ラ一部隊ヲ派遣シテ一時兵站部ニ屬スルカ或ハ病後ノ休養兵ヲ以テ一支隊ヲ編成シ之カ警備ニ充ツヘキモノトス

第三 總テ各地ニ配置サレタル守備隊ハ勤務上ニ關シ其地ヲ管轄スル兵站司令官ニ屬スルモノトス縱令守備隊長此司令官ヨリ高級ナル時ト雖モ亦タ同一ナリトス故ニ兵站監ハ守備隊ヲ配置スル時守備隊長ト兵站司令官トノ階級ヲシテ成ルヘク支障ナカラシムルコトニ顧慮スヘシ兵站監ハ必要

0321

ニ應シ守備隊ヲ自己ノ直轄ト爲シ或ハ監視地區ノ長ニ直屬  
セシムルコトヲ得ヘシ

第四 停車場司令官或ハ碇泊場司令官ヨリ守備隊ノ分遣ヲ  
請求スルトキハ兵站部ハ之ヲ停車場衛兵或ハ碇泊場衛兵ト  
シテ該司令官ノ使用ニ委スヘシ

第五 凡守備兵ハ兵站司令官等ニ屬スル時ト雖モ戰鬪上ノ  
直接指揮ハ該隊長ノ擔任管掌スル所トス

又守備隊ハ其受ケシ本任務ニ妨ケナキ限リハ切迫ノ場合ニ  
際シ彼此相連絡協同シ又諸官衙ノ請求ニ應シ或ハ自己ノ獨  
斷ヲ以テ動作スル等總テ全般ノ警備安全ヲ圖ルヘキナリ

第六 總テ兵站線路上ニ故意ヲ以テ障碍ヲ生セシメタル者

アルトキハ其附近ノ人民ヲシテ此責ニ任セシムルヲ要ス故  
ニ兵站監ハ常ニ豫メ之ヲ地方ニ公示スヘシ

第七 兵站管區ノ背後ニアル兵站線路ヲ警備スルハ其地方  
ノ占領地總督部或ハ留守師團司令部ノ任務トス

### 第十三章 水陸交通路ノ維持

第一 兵站ノ任務ヲ完全ニ遂行スルニハ交通ヲ確實ニシ且  
之ヲシテ自由ナラシメサルヘカラス故ニ兵站監ハ作戰軍ノ  
背後ニ在ル水陸ノ交通ヲ確實ニ維持スル爲メ之ヲ改修シ之  
ヲ修繕シ及必要ナル場所ニハ之ヲ新設スルヲ以テ其任務上  
重要ナル事項トス縱令戰地ニ完全ナル汽車鐵道ノ運行スル  
アルモ戰時ニ於ル鐵道ノ負擔ハ頗ル大ナルカ故ニ尙ホ水陸

0323

ノ交通ヲ以テ之ヲ補助スルコト緊要ナリトス若シ夫レ鐵道  
ノ布設ナキ地方或ハ之アルモ其効程微小ナル地方ニ於テ作  
戰スルニ當テハ水陸交通ノ効用著大ナルモノニシテ此場合  
ニ於ル作戰軍命脉ノ健否ハ一ニ其効程ノ大小ニ存スルナリ  
第二 水路即河川、運河及湖水ノ交通ハ縱令其運動緩徐ナル  
モ比較上少數ノ輸送材料ヲ以テ衆多ノ物件ヲ搬送シ得ヘキ  
カ故ニ兵站監ハ此輸送法ヲ利用スルコトヲ忽ニスヘカラス  
水路ノ輸送ハ作戰停止中ニ於テ其需用品ノ大ニ増加セシ時  
或ハ劇戰ノ後速ニ衆多ノ負傷者及患者ヲ還送スルヲ要スル  
時其効用甚大ナルモノトス而シテ其水路揚陸(搭載)點ノ益、目  
的地ニ近接スルニ從ヒ其効用益大ナリトス



故ニ兵站監ハ河川等ノ輸送材料ヲ速ニ蒐集シ且之ヲ保護スルノ方法ヲ設クルヲ要ス、時トシテハ之ヲ新造スルモ尙ホ大ニ有利ナルコトアルモノトス

第三 作戰軍ノ背後ニ善良ナル道路ノ縱横シ在ルハ縱令、鐵道及水路ノ使用シ得ル者アル時ト雖モ作戰上大ニ必要トスル所ナリ富饒ナラサル戰地ニ於テ作戰軍ノ急ニ前進ヲ要スル時殊ニ然リトナス

然レモ道路ノ形狀ハ素ヨリ悉ク戰術上ノ要求ニ合スヘキモノニ非ス故ニ兵站監ハ亦常ニ深ク道路ノ改修及築設ニ注意シ時トシテハ道路ノ築造事業ヲシテ作戰軍ニ接着シテ跟隨セシムルヲ要スルコトアルモノトス

0325

第四 戰地ニ在テ水陸ノ交通路ヲ使用スルコトハ頗ル頻繁ナルモノトス故ニ兵站監ハ其保護及修繕ヲ瞬時モ忽ニスヘカラス之カ爲メニハ附屬ノ工兵隊尙ホ要スレハ地方ノ人員ヲモ用ヒ適宜ノ方法ヲ設ケ之カ工事ヲ爲サシムヘシ又各兵站司令官モ兵站監ノ主旨ヲ遵奉シ其管區内ニ於テ常ニ此交通事業ヲ完全ニスルコトニ勉ムヘキモノトス

#### 第十四章 兵站馬廠

兵站監ハ需用ニ應シテ病馬ノ爲メ兵站管區内ニ兵站馬廠ヲ設置ス其員數及位置ハ其必要ノ狀況ニ從フモノトス而シテ其業務ニ就テハ兵站獸醫部長之ヲ管理ス  
兵站馬廠ニ要スル人員及材料ハ成ル可ク地方ニ於テ辨シ且

速ニ病馬ニ屬セシ馬卒ト交代セシムヘシ若シ地方ニ於テ之ヲ得ルコト能ハサルトキハ兵站監ヨリ兵站總監ニ請求シ而シテ之ヲ作戰軍ニ關連スル補充隊ヨリ出スモノトス  
 若シ軍隊ニ於テ人員ノ缺乏等ニ依リ其馬匹ヲ飼養スルコト能ハサルカ或ハ他ノ必要アルトキハ團隊長ノ請求或ハ兵站監自己ノ意見ヲ以テ健馬ヲモ一時此廠ニ置クコトヲ得  
 馬廠ノ統轄及給養ハ之ヲ設置セシ地ヲ管轄スル兵站司令部ノ掌ル所トス

第十五章 兵站監本部ノ事務細則

兵站監本部ノ業務ハ其參謀長之ヲ主管シ兵站監ノ意圖ニ副フルヲ以テ責任トス

0327

兵站監ノ其參謀若クハ副官ニ對スルハ師團長ノ其幕僚ニ對スルト同一ニシテ兵站監ハ通常事務ヲ參謀長ニ委任シテ之ヲ擔任セシムルコトヲ得、兵站監部ノ事務取扱方法ハ概テ師團幕僚ニ於ルト同一ニ施行スルモノトス  
機密ニ涉ル費用ノ前渡金ハ兵站總監ノ許可ヲ得テ適宜ニ支出スルコトヲ得

兵站監本部ノ衛兵及傳令勤務ニ充ツヘキ要員ハ必要ニ應シ其兵站守備隊ヨリ取ルヘシ

第十六章 兵站參謀及同副官

第一 兵站參謀長ハ兵站監ヲ輔佐シ内外ノ庶務ヲ整理スルヲ任トシ且本部諸員ノ業務ヲ監督ス

第二 參謀ノ掌ルヘキ首要ナル任務左ノ如シ

作戰ニ關スル事項、兵站線路ノ設置計畫、兵站管區ノ  
 警備、通信及交通事務、彈藥ノ補充、兵站輜重及兵站  
 守備隊ノ使用、作戰軍ノ戰鬪序列及其諸隊ノ位置、軍  
 隊及俘虜ノ輸送、新聞記者ノ監視、陣中日誌、作戰及  
 兵站業務ニ關スル命令報告及通報ノ事項

副官ハ站兵監部ノ庶務ヲ擔任ス其主要ナル任務左ノ如シ

戰時名簿及馬匹名簿ノ保管、軍人軍屬ノ人事、請願及賞  
 罰、人馬及物品ノ補充、兵器ノ修理、交換及其補充、日  
 々命令、定期諸報告表、死傷表、命令ノ傳達、廢兵鹵  
 獲罪人ニ關スル事、給養及宿營、馬廠及馬匹ニ關スル

0329

事務

以上ハ事務分擔ノ概畧ヲ示スモノニシテ其他ノ細項ニ至テハ參謀長適宜之ヲ處置分課スヘシ

第三 副官中高級古參ノ者ヲ高級副官トス同官ハ參謀長ノ指揮ニ從ヒ副官ノ擔任スヘキ庶務ヲ主管シ且直接ニ本部附部員ノ業務ヲ監督ス

高級副官ハ又本部ニ屬スル衛兵及傳令騎兵等ヲ指揮監督ス  
第四 獨立師團若クハ混成旅團ノ兵站監ハ右ニ掲クル規定ニ準シ其事務ヲ各部ニ配當スヘシ

第十七章 兵站監本部附軍吏

兵站監本部附軍吏ハ參謀長ニ隸屬シ高級副官ノ監視ヲ受ケ

兵站監部ニ係ル金錢收支計算記簿及給養一般ノ事ヲ掌ル但  
 經理事務ニ關シテハ兵站監督部長ノ監督ヲ受クルモノトス  
 兵站監部ノ經費ヲ支出スル爲メ本部ニ一ノ金櫃ヲ置キ本部  
 附軍吏ト兵站監ノ指定セル二名ノ將校トヲ以テ組織セル委  
 員ヲシテ之ヲ管理セシム此金櫃ノ管理法及軍吏ノ職務ニ就  
 テハ軍隊金櫃部事務條例中ノ規則ヲ適用スヘシ右經費ノ決  
 算ハ兵站監督部ニ對シテ執行ス  
 又本部附軍吏ハ兵站部内ニ於ル追送品等ノ分配ニ任スルモ  
 ノトス

第十八章 兵站憲兵部長

兵站憲兵部長ハ兵站監ニ隸屬シ兵站憲兵ノ事務ヲ掌リ各兵

0331

站司令部ニ配付スヘキ憲兵ヲ指定シ且自餘憲兵ノ勤務ヲ規定ス

兵站憲兵部長ハ臨時必要ナル報告ノ外、毎月三回(一、十一、廿一日調)ハ定期旬報トシテ其處置シタル諸件並配下各部ノ位置景況等ヲ兵站監ニ報告スヘシ

右ノ外總テ憲兵ノ任務ハ野外要務令ニ依ル

第十九章 兵站法官部長

兵站法官部長ハ兵站監ニ隸屬シ軍事司法、法律上ノ件ニ關シ兵站監ノ諮問ニ應スルモノトス  
兵站法官部長ハ軍法會議ノ事務、陸軍刑法、治罪法、陸軍監獄則其他司法、法律ノ解釋ニ關スル事項ヲ掌ル

0332



第二十章 兵站監督部長

第一 兵站監督部長ノ兵站監及其參謀長ニ對スルハ師團監督部長ノ師團長及其參謀長ト對スルト同一ニシテ又野戰監督長官及當該作戰軍監督部長ニ對シテモ師團監督部長ノ野戰監督長官及軍監督部長ニ對スルト同一ノ職權及義務トナ有ス

兵站部ノ管區内ニ於テ其兵站監督部長ノ負擔スヘキ任務ハ凡テ野戰師團監督部長ノ爲メニ設ケラレタル勤務條規ヲ適用スルモノトス又兵站部ニ屬スル病院ニ關シテモ右ノ條規ヲ適用スヘシ

第二 兵站監督部長ハ凡テ兵站諸官衙及其軍隊給養上ノ需

0333

用ヲ充足シ且兵站管區内ニ在ル各兵站地ノ給養事務ヲ整理  
スルコトヲ掌ル

又當該兵站部ノ屬スル作戰軍ノ給養ニ就キ其豫備品ヲ調達  
シ及作戰軍ノ需用ニ應シ適當ナル時機ニ於テ其ヲシテ便利  
ニ糧食等ヲ領収セシムルモ亦監督部長ノ任務トス兵站監督  
部ノ極力以テ作戰軍ヲ補助スヘキ時機ハ作戰軍一地ニ駐留  
スルカ若クハ其戰地ノ富饒ナラサル場合ニ多シトス故ニ監  
督部長ハ作戰軍給養ノ狀況ニ關シテハ兵站監ヨリ屢訓示ヲ  
受クヘント雖モ又可成直接ニ作戰軍ノ監督部長及野戰監督  
長官ト交通シ以テ速ニ給養品ノ現在及將來ニ於ル景況ヲ知  
悉スルヲ要ス

0334

監督部長ハ右ノ目的ヲ以テ管區内ノ資源ヲ利用シ需用増加ノ際ニ充ツヘキ豫備品ヲ貯蓄スヘシ

此豫備品ヲ貯蓄スヘキ位置及員數ハ兵站管區ノ廣狹豫知スル作戰ノ經過、交通路及輸送用具ノ有無、多少ニ關係スルモノトス

第三 以上ニ掲ケタル給養事務ヲ調理スル爲メ給養豫備品ヲ貯蓄スヘキ兵站倉庫ヲ設立スルコト及其方法ニ關シ意見ヲ兵站監ニ具申シ同監ノ命令ヲ以テ之ヲ實行シ且之ヲ監督スヘシ

第四 兵站監督部長ハ臨時必要ナル報告ノ外毎月三回一、十二、廿一日調定期旬報トシテ其所管事項ノ景況等ヲ兵站監並

0335

軍監督部長ニ報告スヘシ

第二十一章 兵站軍醫部長

第一 兵站軍醫部長ノ兵站監及其參謀長ニ對スルハ師團軍醫部長ノ師團長及其參謀長ニ對スルト同一ニシテ野戰衛生長官及當該作戰軍ノ軍醫部長ニ對シテモ亦師團軍醫部長ノ野戰衛生長官及軍々醫部長ニ對スルト同一ノ職權ト義務トヲ有ス

第二 兵站軍醫部長ハ兵站管區内ノ衛生事務ヲ統理ス凡テ此管區内ニ於テ衛生勤務ニ服スル職員ハ其職務上皆該部長ニ隸屬スルモノトス

兵站軍醫部長ハ兵站部ノ管區内ニ於テ實施スヘキ必要ナル

衛生法ニ關シ兵站監ノ顧問官タルモノトス

第三 兵站軍醫部長ハ戰時衛生勤務令ノ條規ニ從ヒ其職域  
内ニ於テ病院ノ設置閉鎖交代患者収容等ノ事務ヲ掌リ衛生  
豫備員並篤志看護者ヲ適當ニ使用スルコトヲ擔當スルモノ  
トス

兵站軍醫部長ハ作戰軍ノ利益ヲ圖リ衛生豫備員ヲ以テ速ニ  
野戰病院ニ代ラシメ之ヲ戰地定立病院ト爲シ以テ野戰病院  
ノ人員ヲシテ將來ノ使用ニ妨ナカラシムヘシ而シテ其定立  
病院ニハ多數ノ看病人ヲ置クコトヲ勉ムヘシ

又患者ニシテ輸送シ得ヘキ者ハ常ニ還送スルコトヲ勉メ且  
之カ爲メ豫メ其輸送法ヲ準備スヘシ是レ患者輻湊充滿スル

0337

トキハ大ニ事務ヲシテ過重危難ナラシムルニ至レハナリ  
第四 兵站軍醫部長ハ兵站監督部長ト協同シテ常ニ衛生豫  
備廠ノ諸準備ヲ整ヘ且適當ノ時ニ於テ軍若クハ師團司令部  
等及其關係官衙ニ此豫備廠ノ所在地ヲ通知スヘキ責任ヲ有  
ス

兵站軍醫部長ハ衛生豫備廠ヲシテ各病院長ノ請求ニ應シ病  
院ノ定額需用品ヲ支給セシムヘシ又患者輸送委員ヲシテ豫  
メ患者輸送ニ要スル諸準備ヲ整ヘシムヘシ  
第五 兵站軍醫部長ハ兵站管區内ノ各病院ヨリ毎週出ス所  
ノ患者報告表ヲ整理シ毎月一回之ヲ兵站監及作戰軍ノ軍醫  
部長ニ呈出スヘシ其他臨時必要ナル報告ノ外毎月三回(二十

0338

一、廿一日調定期旬報トシテ其部下各部ノ位置景況等ヲ兵站監ニ報告スヘシ

第二十二章 兵站獸醫部長

兵站獸醫部長ハ兵站監ニ隸屬シ戰時獸醫部勤務令ノ條規ニ從ヒ兵站管區内ニ於ル馬匹ノ衛生及獸疫豫防ノ事務ヲ統理ス故ニ總テ此管區内ニ於テ馬匹衛生勤務ニ服スル職員ハ其職務上ニ關シ皆該部長ニ隸屬スルモノトス

兵站獸醫部長ハ馬匹ノ衛生上必要ト認ムルトキハ兵站監ニ具申シテ兵站馬廠ヲ設置シ且之ヲ管理ス

兵站獸醫部長ハ臨時必要ナル報告ノ外毎月三回(一、十一、廿一日)其統理スル業務上ニ關シ定期報告ヲ兵站監ニ出スヘシ

0339

第二十三章 兵站電信部長

第一 兵站電信部長ノ任務ハ國用電信線ト作戰軍トノ間ニ電信ノ連絡ヲ維持シ且其通信業務ヲ統轄スルニ在リ故ニ該部長ハ兵站監ニ隸屬スト雖モ其業務上ニ關シテハ野戰高等電信長ノ監督ヲ受ケ且當該作戰軍司令部ノ電信部長或ハ其主任官ノ區處ヲ受クルモノトス

兵站電信部長ハ作戰軍ノ利益ヲ圖リ兵站電信輜重ヲ指揮シ之ヲ以テ野戰電信隊ノ人員ニ交代シ且其材料ヲ補足シ以テ該隊ヲシテ將來ノ使用ニ妨ナカラシムルヲ勉ムヘシ

第二 兵站電信部長ハ兵站事務上ニ必要ナル電信ノ通信業務ヲ管理シ且之カ爲メ兵站管區内ニ所要ノ電信通信所ヲ設



置スルコトヲ規定ス

兵站電信部長ハ又其兵站管區内ニ於ル全電信業務ヲ統轄シ  
及之ヲ整理スヘキモノトス故ニ該部長ハ其管區内ニアル國  
用電信及其職員ヲ使用スルコトヲ得、但鐵道業務ニ屬スル電  
信ヲ使用スルトキハ先ツ野戰鐵道提理或ハ線區司令官ノ同  
意ヲ得ルヲ要ス

故ニ兵站電信部長ハ其管區内ニ在ル電信網ノ狀況ヲ熟知ス  
ルヲ緊要トス若シ電信圖等ニ依ルモ其狀況不明瞭ナル所ア  
レハ實地ニ調査シテ遺漏ナキヲ期スヘシ但實地調査ニ因テ  
得タル結果ハ速ニ野戰高等電信長ニ報告スヘシ

第三 兵站電信部長ハ通常兵站監ノ所在地ニ駐在シ常ニ作

戰軍司令部及背後ニアル國用電信局或ハ占領地ノ電信局ト  
連絡ヲ保持スヘシ

第四 兵站電信部長ハ電信用ノ人員及材料ニ缺乏ノ虞アレ  
ハ之ヲ野戰高等電信長ニ具申スヘシ但材料ハ成ルヘク地方  
ノ物ヲ以テ補足スルコトヲ勉ムヘシ

兵站電信部長ハ其業務偵察、護衛、警備等ニ關シ軍隊ヲ要スル  
トキハ之ヲ兵站監ニ具申スヘシ

第五 兵站電信部長ハ臨時必要ナル報告ノ外毎月三回(一、十  
一、廿一日調)定期旬報トシテ其所管業務ノ景況ヲ兵站監及野  
戰高等電信長ニ報告スヘシ

### 第三部 兵站地及兵站司令部